

(令和2年8月31日)

< ワンポイントレッスン (理論・基礎知識) >

(分散投資と集中投資・その2 (分散投資))

前回の分散投資と集中投資・その1(考え方)は、「分散とか集中」を意識することなく投資する銘柄を増やしていくと、「結果、分散が進みインデックスのパフォーマンスに近づく」ことを述べました。今回は、少し余談です。

日経平均採用 225 銘柄から、ランダム (乱数表で) に 10 銘柄を選ぶとしてそのパフォーマンスはどうか、10 回繰り返した結果についてです。昨年 2019 年末株価を 18 年末株価と比べてみました。 下記、ポートフォリオ 1~3 は、ランダムに銘柄を選んだ個々の銘柄の変動率、最下段がポートフォリオとしてのパフォーマンス。右の表は、10 回繰り返した各ポートフォリオのパフォーマンスを示しています。結果、日経平均採用 225 銘柄の年間変動率の平均が 11.88%であったのに対して、ランダム 10 銘柄ポートフォリオのパフォーマンス平均は 8.88%。▲5.15%から 21.77%と大きく散らばりましたが、意外と平均に近づく結果でした。(一回だけでは、何とも言えませんが)

・日経平均採用銘柄(225銘柄)からランダムに10銘柄を選んだポートフォリオのパフォーマンス?2019年1年間の結果・・・?

・ちなみに、日経平均は、19年1年間で、18.20%上昇しましたが、日経平均採用銘柄の上昇率の単純平均(各々何%上昇したかの平均=等金額投資)は、11.88%でした。

乱数発生で選んだ10銘柄ポートフォリオ (単位: %)

第1ポートフォリオ			第2ポートフォリオ			第3ポートフォリオ			各ポートフォリオの平均	
2802	味の素	-7.26	1332	日本水産	6.19	1928	積水ハウス	44.13	第1ポートフォリオ	10.99
4272	日本化薬	-3.28	1605	国際帝石	15.77	5101	横浜ゴム	3.20	第2ポートフォリオ	-5.15
5202	日本板硝子	-16.75	4506	大日本住友	-39.06	5714	DOWA H	23.48	第3ポートフォリオ	10.23
6645	オムロン	60.50	4901	富士フイル	22.48	5901	東洋製鐵G	-25.06	第4ポートフォリオ	10.03
6752	パナソニック	3.93	5301	東海カーボ	-12.26	6988	日東電工	11.49	第5ポートフォリオ	13.74
7004	日立造船	23.35	5901	東洋製鐵G	-25.06	7269	スズキ	-17.96	第6ポートフォリオ	1.61
8303	新生銀行	27.96	6302	住友重機械	-4.43	8015	豊田通商	18.95	第7ポートフォリオ	2.99
9005	東急	12.48	8309	三井住友ト	7.83	8601	大和証券G	-0.65	第8ポートフォリオ	11.94
9022	J R東海	-5.03	9064	ヤマトHD	-38.26	9021	J R西日本	21.65	第9ポートフォリオ	10.73
9301	三菱倉庫	14.02	9983	ファースト	15.31	9432	N T T	23.03	第10ポートフォリオ	21.77
		10.99			-5.15			10.23		8.89

・日経平均採用225銘柄の上昇率平均は11.88%。10銘柄ポートフォリオの平均は、8.89%。平均から上方に1ポートフォリオ、下方に3ポートフォリオが大きく離れたましたが、概して225銘柄等金額投資の平均値近辺となりました。

次回は、2019年のマーケットをベースに。「集中投資」について述べたいと思います。